

白山市コミュニティスクール

学校が変わ
るってどう
いうこと？

地域の意見が
学校運営に反
映されるんだ
って

わたしの裁縫
技術をこども
たちに教えて
あげたいな！

1 コミュニティスクールとは？

学校に学校運営協議会が設置された学校のことをいいます。協議会には、保護者や地域の方々が委員として参画し、学校の運営等に対して、意見を述べ、反映させていきます。

現行制度として、各学校に学校評議員という方が、数名、教育委員会から委嘱され、学校の運営等に対して、意見を述べ合っています。学校運営協議会は、これを発展させ、もう少し多くの方々から意見を募り、合意形成のもと学校を運営していくものです。

2 なぜ、コミュニティスクールを目指すのか？

少子高齢化や教育現場の多様化など社会の変化に伴い、地域の力を得ながら課題解決に導き、未来の創り手となる子どもたちの成長を学校と地域とが一体となって支えていくことが求められています。

学校にとっては、現状や方針に対する地域の理解が深まり、地域にとっては、教育の当事者として学校に関わることで、学校を中心に多世代にわたって地域に一体感が生まれ、子どもたちにとっては、学校だけでは得られない知識等を体得できるというメリットがあります。

3 学校運営協議会とは、どのような組織？

各学校ごとに設置され、校長、教職員のほか、保護者や地域の方々、見識を有する方々により、10名以内で構成されます。

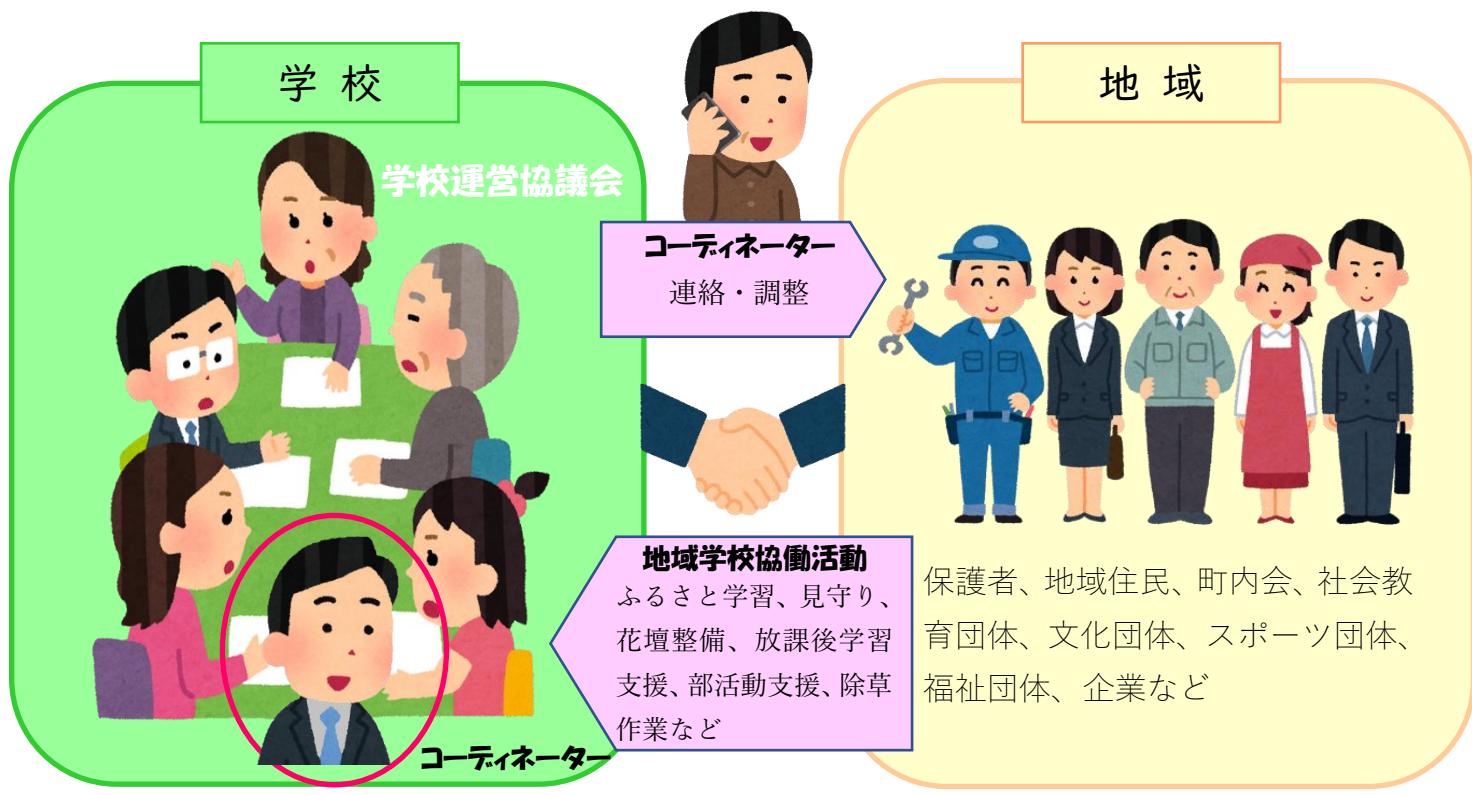
協議会の設置に際しては、地域のご協力が不可欠であるため、校長、保護者、学校評議員のご意見に基づき、準備が整った学校から順次導入を進め、令和6年度には市内全小・中学校への導入を目指します。

4 本市のコミュニティスクールの特色は？

学校運営協議会の中にコーディネーターを配置することができ、地域との連携の橋渡し役を担っていただきます。

協議会委員の中からコーディネーターを選任することができ、学校のニーズに応じて、地域人材の中から講師を探したり、町内会連合会などの各種団体にボランティア参加要請などの連絡をしたりします。

白山市コミュニティスクール



5 地域学校協働活動とは？

学校と地域とが連携して、地域の方々が、学校の運営や行事などに参画することをいいます。

地域学校協働活動には、さまざまな形態があり、また、学校によっても異なり、すでに実施されている学校も多くあります。

地域学校協働活動の例

学校の行事等にさまざまな形で関わることができます。

【地域講師】

地域にまつわる歴史文化の伝承や、農作物生産者や地元企業の社長などによる専門知識や職業の講話などを依頼されることがあります。

【技能指導】

授業の中で、熟練の技能等に触れてもらうため、裁縫、調理、着付け、茶道などの講師として指導していただくことがあります。

【ボランティア】

学校の景観保持のため、花壇の手入れ、除草、清掃作業などのほか、登下校時の見守りにも参加できます。

【学校公開】

地域の方々に授業の様子や運動会、音楽会などを見ていただくほか、社会体験を一緒に行うケースもあります。

明日、裁縫の先生が来るんやって。
なんか、楽しみやね。



わたしたちは、学校の応援団やよ。
地域で見守るよ。



白山市教育委員会事務局学校教育課

〒924-8688 石川県白山市倉光二丁目1番地

☎ 076-274-9571 FAX 076-274-1665

✉ gakkou@city.hakusan.lg.jp